

震災の講話を聞いた感想

- 震災体験者の人の話はとても貴重で大切な経験だと思った
- 震災は戦争と同じように当たり前を壊す恐ろしい存在だと思った
- 震災は建物などを壊す以外に心などにも影響を及ぼすんだなと思いました
- 地震は思っている以上に被害が大きいんだなと思いました
- あのでっかい高速道路が横に倒れていたり道路に穴がぽっかり空いていたり、建物が潰れていたり傾いていたりたおれていたりしたので地震の威力は凄まじいんだなと思いました
- 新聞は正確な情報が載っているなのでその情報が遮断されたら被災者の人たちは困るのかなと思いました
- 阪神淡路大震災は建物の倒壊による圧迫死が多かったので崩れにくい建物に住むことも大切なのかなと思いました
- 人には2度の死があることは知っていたけどそれにならないように頑張っている人もすごいなと思いました
- 30年の壁があることは初めて知って原爆も80年経っているけど正確に大切に語り継がれているから阪神淡路大震災も語り継がなければならないなと思いました
- 記者はその震災の現状を伝えなければならないけど非常にそれはつらいことだと思いました 理由は、自分の家族が死んでいるかもしれない状況や恐ろしい状況のところへ取材しにいかなければならないからその悲惨な状況を見ることもつらいと思ったからです

震災の話を聞いた感想

震災は、いつ起こるかもわからなしい当たり前がいつ壊れるかもわからない危険の中で、新聞会社の人や自衛隊の人は、人々を救って凄いなと思った。震災の中友達や、大人の人と協力して、助け合いをしていきたいと思いました

震災の講話の感想

- 震災の講話を聞いてこの先大きな地震が来ないと思わずに地震がたときのために逃げる場所や持ち物を考えておくことが大事だと思った。
- 今は大きな地震が来ずに安全に暮らせているけど昔の人は南海トラフ地震や阪神淡路大震災などで多くの被害が出ていると思って暮らす。そして、これからも大きな地震が来ないことはないのものでそのときのことを考えて生活する。

震災の講話を聞いた感想

- 災害でショックを受けた人に安心できる情報や明るい話題は大切だなと思いました。
- 災害は終わらないから備えを続けていくことが大切だとわかりました。
- 震災関連死という言葉をはじめて聞いて震災関連死で死んだ人は辛い思いをしたんだなと思いました。
- 南海トラフ地震が起きている間に起こるときいて怖いなと思いました。

震災の講話を聞いた感想

講話を聞いたことで阪神淡路大震災などの地震についてよくわかることができました。

動画をみたとき土砂崩れみたいに物が落ちてきて挟まれた時などすごく怖いと思いました。

また、2度死ぬといわれ体が死んだ時は後もう一つの死ぬはなんだろうと思っていたけど話を聞いて誰かに忘れられたら死ぬと言われてなるほどと思いました。

そして、地震はいつ来るかはわからないからそのために用意をしたり近所の方や家族など1日1日を大切にしたいと思いました。

震災の話を聞いて

阪神淡路大震災もすごい地震だけどこれから必ず起きる南海トラフ地震は阪神淡路大震災と同等かそれ以上だから自然災害とはとても恐ろしい物だと思いました。人は一回死んでしまっても僕たちが忘れられない限りの僕たちの心の中で生きている事を改めて実感しました。

今は大地震が起こる可能性があるところで地震が起きたら巨大地震注意とかの予報があるけど、その予報の100回に1回くらいの確率で本当に大地震がくるという話を聞いて、しっかりと防災対策をしておかないといけないと思いました。大事にしたいことは阪神淡路大震災みたいな大地震（地震）がいつくるかはわからないから講師の方（みよしさん）が言ってたように日常を大切に、身近な人を大切にして後から後悔しないようにしたいです。震災で神戸新聞がシステムダウンした時に京都新聞と共同で新聞を作れさせてもらっていたというのを聞いて、そういう良い関係をつくっていた方が何かあった時に協力できるからいいと思いました。

震災を聞いた感想

今日の授業で震災について学び、当たり前だと思っていた日常がいかに幸せなことだと思いました。

一瞬にして家や大切な人を失ってしまう怖さを知り、今自分にできることは何かを考えさせられました。まずは防災について家族と話し合い、自分たちの身を守る準備をしっかりとっておきたいです。

阪神淡路大震災は、すごい揺れてて新聞会社の窓ガラスや機械がこわれたり僕らが生きてるうちにもう一回くるから話しをきいてつぎに非常食や水をよういするようにならないとやばいなとおもいました新聞社は資料や新聞とかの記事がかけなくなっていて火事がおきてててがれきやいえがつぶれてて道をふさいでいるから消防車もいけないから自分らが手伝ってあげないと毎日が当たり前じゃないよとおしえてくれました

震災の講話を聞いた感想

神戸新聞記者のみよしさんの話を聞いて友達や家族あたりまえの事は簡単にくずれてしまうと言う事がわかった。なので友達や家族あたりまえの事を大切にしようと思いました。みよしさんは南海トラフ地震は僕たちが生きているうちに必ずくると言っていたので少し怖かったけどその地震にどう備えるか考えようと思いました。

震災を聞いた感想

改めて地震の恐ろしさにきずきました。
今まで地震が来ないと思っていたら震度
7の直下型の地震が来るなんて誰も思っ
ていなかったことから酷いことになった
ことに気づきました。
この授業を活かして今度からはもっと
他の授業を活かしたいです。

震災の感想

新聞記者の話聞いて思ったことはどんなに、その人が嫌でもなくなったら悲しさを感じることを思いました。

だから周りの人に感謝する、人を2度と死なせないことが改めてよくわかった。動画を見た時もみんないつもどおりの生活をしている中、急に揺れ始めることもわかりそれがもし海に近かったらなどを考えると凄く怖く感じました

震災の講話を聞いた感想

元々地震はとても危ないものだと思っていたけど、災害の話を聞いて地震はやばいと改めて思いました。ものや人が飛んできたりガラスが飛んできたりと地震はとても危ないものと思った。地震で亡くなった人がどれだけ辛い思いをしたかが分りました。地震は無くせないけどいざきた時のために逃げる準備をしたらいいと思いました。

震災の話を聞いた感想

震災の話を聞いて、当たり前だと思っていることをもっと大切にしていきたいなと思いました。みじかな人をもっと大事にして後悔のないように生きていきたいなと思いました。神戸新聞の会社が地震でガラスが割れたり機械が壊れたりして、一番大事な時に壊れて使えなくなり、京都のところの新聞会社に行って新聞を発行して神戸に持ち帰って、普通の人は地震がおきただけでとても大変なのに、新聞社の人や記者の人たちはもっと大変なことが分かりました。

震災の講話を聞いた感想

- 震災の話聞いてとても貴重な話だなと思いました。
- 地震の動画を見た時に思ったことは、ほんのわずかな時間だけどもめちゃくちゃ勢いよくバーンと物が倒れてとても酷いことになっていました。それを知ると地震はとても怖い震災ということがわかりました。
- 死者の数がものすごく多かったこともびっくりしました。
- 高速道路が崩れてバスが落ちそうになっているのもびっくりしました。

震災の話を聞いた感想

6000人も死んでいると聞いてびっくりしました。そのうちの4000人が神戸で死んだのはびっくりしました。ロッカーが飛んでくると聞いて怖いなと思いました。死んでしまったら家族や友達とは会えないから大事に時間を過ごしていきたいなと思いました。自分たちが生きている間に南海トラフは必ず起きるから、しっかりと備えておきたいなと思いました。ご飯やお風呂が急に入れなくなったりするように、今の日常は当たり前ではないことがわかりました。

地震は凄く怖くてその地震だけで多くの人々が亡くなるので凄く怖いと思いました。なのでいつ起こるかもわからないので、非常食や防犯グッズをまとめたり、家族で話し合ったりしようと思いました。

震災を聞いた感想

阪神淡路大震災の時の神戸新聞社の被害は、コンピュータが停止するくらいの被害だということがわかりました。記者の家の被害を見て、ロッカーや棚が全部倒れて人の上に倒れていることがわかりました。神戸新聞は、ここに行ったら、お風呂に入れるところや、水などがもらえる場所を書いて要るコーナーがあることがわかりました。僕は、震災はいつ起こるかわからないからこそ準備をしておくことが大切だと思いました。

震災の講話を聞いた感想

震災のことは前から少し知っていたけれど、実際にどれだけ揺れたのかや、どれくらい被害があったか、実際に元で作られたビデオでよく学びました。たくさん揺れて窓ガラスが一気に割れたり、物が倒れたり落ちてきたりしていて、地震っていうものはすごく怖いものなんだなとより感じれました。ビデオ以外にも、話がすごくわかりやすかったです。

新聞記者だからこそわかることもあって、普段の授業では学べないような内容でとても勉強になりました。

震災の講話

神戸新聞記者の話を聞いて友達や家族は大切にしなければいけないなと思いました。僕にできることは

震災の対策をして家族や身近な人に気をつけないといけないことなど今日教えてもらったことを言おうと思いました。

ドラマがリアルに再現されていてこんな感じで揺れたんだと思いました。体験している人の話はやはり違うなと思いました。

後疑問に思ったのが新聞記者の方はいつ寝ているのかななど生活リズムが大丈夫なのかなと思いました。

震災感想

家族と一緒に毎日過ごせてるのは当たり前じゃない

ご飯を食べたりお風呂に入れたり

学校で勉強できたりするのも当たり前じゃない

話を聞いてもっと家族との時間を大切にしようと思った

阪神淡路大震災のことをより深く学ぶことができた

震災の話を聞いて

話を聞いたけれど震災は、とても怖いなと思いました。

なぜなら、建物が崩れたりものが落ちてきたりなどとても怖かったです。

1番切なかった話は、家族が亡くなってしまって1人だけ生き残った話です。

いつもお母さんがご飯など作ってくれたりしてくれてとてもありがたい思いが溢れてきました。

これからは、震災が起きる前に逃げる場所や色々な食料をしっかりと用意しようと思いました。家族の日頃の感謝を忘れないでおこうと思いました。

震災の講話を聞いた感想

震災のことは前から聞いたことがあり、ひいおばあちゃんの家の壁が一つだけ剥がれてしまうほどの力だということにはわかっていたが、ビデオを見てみて棚が斜めになったり棚の中の物が全て外に出てしまっている所を見て掃除は絶対大変だろうし、家族が亡くなってしまうのは悲しいのに、頑張ってお金貯めて買った家がたった一回だけの地震で倒れてボロボロにその上燃えてしまうのはもっと悲しいことだろうから、地震は二度とと起こってほしくないと思った

震災の講話を聞いた感想

震災の講話を聞いて思ったことや学んだことは神戸新聞は震災の時、死者や状況などの情報を記事にするより、読者を慰める記事を書いているのはすごい工夫でニーズに合わせているなと思いました。心に響いた言葉は「人を二度死なせない」という言葉です。わけは原爆の時から学んでたけど、戦争はあってはいけないことで次世代に引き継ぐべきことだし、地震は備えるものだから、その備えるや引き継ぐために、僕たちも三宅さんのように講和などを開いたり、身近な人に話したりして、戦争のひどさや地震の備え方を次世代に伝えて、またそれをする事で人を二度死なせないということにも繋がってくると思うからです。

震災の講座

お弁当と行ってきますが一番心に残りました。

これからは家族や周りの人や友達を大切にしようと思いました。

もし自分が死んだ時に後悔がないようにこれからは生活していきたいと思いました。

五人家族で自分だけ生き残ったらなかなか立ち直れないと思うので失った方はとてもすごいなと思いました。